

(様式1)

平成27年度試験研究課題設定のための要試験研究問題提案・回答書

(整理番号) 021	提案機関名 環境農政局農政部畜産課
要望問題 悪臭物質個々に対応した消臭方法の検討	
要望問題の内容 【 背景、内容、対象地域及び規模（面積、数量等） 】 畜産経営に起因する苦情の6割が悪臭に関係するものであり、その対策として今年度より「畜産経営臭気発生源調査研究」が新たに取り組まれている。この中で簡易官能検査手法の開発が柱となっており、この手法が開発されることにより、原因物質の特定が安価で迅速かつ容易にできることとなる。 そこで特定した悪臭原因物質毎の対策として現場で活用可能な消臭剤等を中心とした実態調査と検討をお願いしたい。	
解決希望年限	①1年以内 <input checked="" type="checkbox"/> ②2～3年以内 ③4～5年以内 ④5～10年以内
対応を希望する研究機関名	①農業技術センター <input checked="" type="checkbox"/> ②畜産技術センター <input checked="" type="checkbox"/> ③水産技術センター④自然環境保全センター
備考 悪臭原因物質毎の対策を検討することにより、畜産経営臭気発生源調査研究の成果とあわせて、より効果的な悪臭対策が講じることが可能となる。	

※ ここから下の欄は、回答者が記入してください。

回答機関名	畜産技術センター	担当部所	企画研究課
対応区分	①実施 <input checked="" type="checkbox"/> ②実施中 <input checked="" type="checkbox"/> ③継続検討 ④実施済 <input checked="" type="checkbox"/> ⑤調査指導対応 <input checked="" type="checkbox"/> ⑥現地対応 ⑦実施不可		
試験研究課題名 (①、②、④の場合) (2) 養豚場現場における臭気評価方法の検討			
対応の内容等 畜産経営に起因する苦情の6割が悪臭に関係するものであり、畜産経営を継続するためには悪臭対策が必要であります。 そこで今年度より「養豚場現場における臭気評価方法の検討」を課題化し、現在試験を実施中です。 これまでの悪臭研究は、悪臭防止法上の悪臭成分22物質を中心に低減技術の検討がなされてきましたが、新たに取り組むとして豚ふん由来の上記22悪臭成分以外の悪臭成分を模索する基礎研究を実施しております。また、特定した悪臭成分を基準とした簡易官能検査手法の開発にも取り組んでおります。 22物質以外の悪臭成分を特定することが出来れば、その成分の特性に合わせた低減技術を検討することが可能となりますが、ご提案にありますような「原因物質の特定が安価で迅速かつ容易」となるまでには、さらなる検討のため時間が必要と考えております。 また、現場で活用可能な消臭剤の検討につきましては、先ず豚ふん由来の上記22悪臭成分以外の悪臭成分の特定があり、次の段階として特定した悪臭原因物質の性状に合った消臭方法の検討が必要と考えております。現時点では、基礎研究の段階ですが、悪臭原因物質毎の解決策が提示できるよう研究を継続して参ります。 現場の実態に合わせた脱臭技術の導入には、実態調査が必要でありますので、神奈川県畜産経営環境保全対策指導協議会と連携しながら進めていきたいと考えております。			
解決予定年限	①1年以内 ②2～3年以内 <input checked="" type="checkbox"/> ③4～5年以内 ④5～10年以内		
備考			